

主要プロジェクト推進プラン「地方創生事業の広域展開」に対するご意見と県の考え方

No.	リーディングプロジェクト	該当箇所	意見	意見に対する考え方
1	「ほの国」東三河ブランド戦略の推進	(1) 東三河のブランドイメージ確立と相互共有	京都府では「海の京都」という京都府北部地域のブランド戦略を進めている。東三河でも、同じようにロゴマークを作成したり、ストーリーを作ったり、「海の京都」を参考に作成してください。	「「ほの国」東三河ブランド戦略の推進」に取り組む上での参考にさせていただきます。
2	「ほの国」東三河ブランド戦略の推進	(1) 東三河のブランドイメージ確立と相互共有	東三河の情報発信は、ともすればお祭りとか風景とか、生真面目なトーンになりがちなので、ブランドイメージを作るのなら、できるだけ明るいものを期待します。	「「ほの国」東三河ブランド戦略の推進」に取り組む上での参考にさせていただきます。
3	「ほの国」東三河ブランド戦略の推進	(1) 東三河のブランドイメージ確立と相互共有	<p>新城インターができたことは嬉しいことです。道の駅や、こんたくで奥三河の産物をしっかり宣伝してほしいと思います。</p> <p>ストーリーづくりということでは、昔話や、地域に古くから伝わる話もしっかり子供たちに伝えなければと思います。天狗や鬼といった、神がかりな力や自然を前にして、人が謙虚に生きる姿を知ることが、今、大事だと思います。</p>	「「ほの国」東三河ブランド戦略の推進」に取り組む上での参考にさせていただきます。
4	「ほの国」東三河ブランド戦略の推進	(1) 東三河のブランドイメージ確立と相互共有	<p>東三河ブランドとってイメージできるものが浮かびません。確かに暮らしやすいとは思っています。快適な暮らしとストーリーがどうつながるのか。想像がつかないですが、面白い話が発掘できるなら是非読んでみたいです。</p> <p>家の周りはさびしくなるばかりですが、でも、若い皆さんでがんばっている人もいますので、些細なことでも、元気になれるストーリーが沢山紹介できれば良いのではと思いました。</p>	「「ほの国」東三河ブランド戦略の推進」に取り組む上での参考にさせていただきます。
5	産学官連携による産業人材の育成・確保	(2) U I J ターン等による産業人材の確保	産業人材育成・確保について、東三河から外に出て働いている人に東三河に移住してもらうのは、相当な理由がない限り難しいと思います。まずは今この地域にいる子供たちに、家庭や地域や学校で、この地域にある仕事を教え、将来もこの地域で働き、家庭を持ちたいと思わせるように教育して行った方が良いと思います。	「産学官連携による産業人材の育成・確保」に取り組む上での参考にさせていただきます。